

## 中学校第 1 学年社会科学学習指導案

1 単元名 近世の日本

2 本 時 享保の改革 ～見沼たんぼの新田開発を中心として～

( 1 ) ねらい 見沼たんぼの開発を通して、享保の改革の内容を理解させる。  
古文書の活用により、地域の歴史的事象に興味をもたせる。

( 2 ) 展開

過程	学習活動・学習内容	資料
意欲	1 幕府の年貢収入増加の理由について考える。 ・時期 江戸時代中期 18世紀前半 ・理由 新田開発 年貢率の上昇	資料 「耕地面積の増加」
課題把握	2 埼玉県内の郡ごとの石高の推移を知る。 ・足立郡、入間郡、埼玉郡の増加。	資料 「埼玉県内の郡ごとの石高の推移」
追究	3 大宮市内を流れる見沼代用水の意義を知る。 ・開発時期 およそ 250 年前 ( 1727 ~ ) ・指揮者 幕府が井沢弥惣兵衛に命じる ・開発面積 ・新田開発前後の村高の変化	地形図 5 万分の 1 「大宮」
	4 地域の新田開発について知る。 ・地図から「新田」と名のつく地域を調べる。( 加田屋新田、上山口新田、新右衛門新田 ) ・「加田屋新田」に関する村絵図と検地帳を利用することにより、歴史的事象を具体的に把握する。 ・検地で調べたことの確認をする。( 復習 ) 面積を測る 土地の良し悪しを調べる 収穫高を調べる 耕している農民の名前を調べる。	
まとめ	・新田開発の背景について考える。 町人への許可 幕府の財政難	資料 1 加田屋新田検地帳 ( 坂東家 4 )
	5 享保の改革の内容についてまとめる。	
	6 享保の改革の意義についてまとめる。	
	7 次の予告	資料 4 百姓一揆・打ちこわしの推移 ( 教科書等 )